

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 10 月 19 日 (2017.10.19)

【公表番号】特表 2016-534214 (P2016-534214A)
 【公表日】平成 28 年 11 月 4 日 (2016.11.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-062
 【出願番号】特願 2016-542435 (P2016-542435)
 【国際特許分類】

C 1 1 C 5/02 (2006.01)

C 1 1 C 5/00 (2006.01)

【F I】

C 1 1 C 5/02 Z B P A

C 1 1 C 5/00 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 9 月 8 日 (2017.9.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

キャンドルシステムであって、当該キャンドルシステムは、

燃料容器を有し、前記燃料容器は、自己崩壊性空洞を有し、前記自己崩壊性空洞は、所定の液体燃料を収納し、かつ、前記自己崩壊性空洞内の前記所定の液体燃料の減少に追従して前記自己崩壊性空洞の長手軸に沿って鉛直方向に縮小するように構成されており、かつ

少なくとも一つの芯を有し、前記少なくとも一つの芯は、前記所定の液体燃料を、前記自己崩壊性空洞内へ導入した後に燃焼させるように構成されており、

前記自己崩壊性空洞が、前記空洞に前記所定の液体燃料が充填され前記芯に火がついている時には徐々に崩壊するように構成されている、
 前記キャンドルシステム。

【請求項 2】

前記芯が、前記自己崩壊性空洞に前記所定の液体燃料が充填されている時には前記芯の第 1 の端部が前記空洞の開口部から突き出るように構成されている、請求項 1 記載のキャンドルシステム。

【請求項 3】

前記自己崩壊性空洞が、前記所定の液体燃料が前記空洞内で減少するペースと同様のペースで崩壊するように構成されている、請求項 1 または 2 に記載のキャンドルシステム。

【請求項 4】

前記自己崩壊性空洞が、前記所定の液体燃料が前記自己崩壊性空洞に収容されている時には前記所定の液体燃料によって前記自己崩壊性空洞が広がって伸び、かつ前記空洞に前記所定の液体燃料が充填され前記芯に火がついている時には前記所定の液体燃料が消費されるに従って前記自己崩壊性空洞の伸びが小さくなるように、伸縮性の材料で作られている、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 5】

前記自己崩壊性空洞が、浮遊端部に吊り下げられる折畳み可能なフィルムによって形成されている側壁に囲まれることにより、前記所定の液体燃料が充填されている時には拡張

し、かつ前記芯に火がついている時には前記所定の液体燃料が消費されるに従って収縮する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 6】

前記自己崩壊性空洞が、可融性の材料で作られている側壁に囲まれ、かつ前記キャンドルシステムが、前記空洞に前記所定の液体燃料が充填され前記芯に火がついている時には前記側壁の端部が溶けるように構成されている、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 7】

さらに、前記空洞内に収容された一定の体積の前記所定の液体燃料を有する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 8】

前記自己崩壊性空洞が、前記所定の液体燃料上に浮かぶよう構成された浮遊端部に吊り下げられ側壁に囲まれている、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 9】

前記自己崩壊性空洞が、前記自己崩壊性空洞に前記所定の液体燃料が充填されている時にはテレスコピックに伸び、かつ前記液体燃料の前記減少とともにテレスコピックに後退するように構成されている、請求項 8 記載のキャンドルシステム。

【請求項 10】

前記所定の液体燃料が、前記空洞の開口部まで前記空洞を一部または全部満たす、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 11】

前記液体燃料の燃焼中に炎が前記空洞の外から見えるように構成されている、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 12】

さらに、前記所定の液体燃料の上に浮くことができる浮きを有し、前記芯が前記浮きの上に配置されている、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 13】

前記芯の第 2 の端部が、前記自己崩壊性空洞に連結されている、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 14】

さらに、前記芯を補強するように構成される芯のコーティングを有する、請求項 13に記載のキャンドルシステム。

【請求項 15】

前記芯のコーティングが、可融性の材料で作られている、請求項 14に記載のキャンドルシステム。

【請求項 16】

さらに、前記空洞を覆うよう構成された可融性の覆いを有し、前記芯は、前記芯の第 1 の端部が前記可融性の覆いから突き出るようにさらに構成されており、前記可融性の覆いが、前記芯の前記第 1 の端部に火がついている時には溶けるように構成されている、請求項 1 ~ 15 のいずれか一項に記載のキャンドルシステム。

【請求項 17】

請求項 1 ~ 16 のいずれか一項に記載の 1 以上のキャンドルシステムと、
オリーブオイルを含む 1 以上のオリーブオイル容器とを有する、
キャンドルキット。